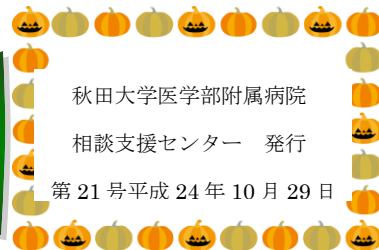


相談支援センターだより



秋田大学医学部附属病院

相談支援センター 発行

第 21 号平成 24 年 10 月 29 日



平成 24 年度第 1 回がん相談員担当者会



去る 10 月 12 日県内のがん拠点病院と県がん対策室担当で医療連携強化のため、当院にてがん相談員担当者会が開催されました。

秋田県 5 大がん地域連携パスについては、運用が思うように伸びない中、医療圏内の開業医に出向いてのパスの説明を行っている施設もあり、地域との連携強化が推進のキーワードとなるとの報告がありました。

また患者会・がん患者の地域医療との連携・リンパ浮腫セラピーなど、現状報告や情報提供方法について、活発な意見交換が行われ有意義な時間となりました。

現在の状況を踏まえてよい連携や、がん拠点病院の目的を果たしていくための活動につなげていきたいと思えます。

相談支援センターの利用について

病棟に相談支援センターの案内を掲示しております。ご相談は直接来室していただいても対応可能ですが、事前にご連絡いただくと幸いです。また、利用について等ご不明な点も、お気軽にお問い合わせください。

“わからないこと” “相談したいこと” は

相談支援センターをご利用ください。

例えば

1. 医療費の支払いや経済的な不安について
2. 介護保険などの福祉サービスについて
3. 障害年金などの社会保障制度について
4. 退院・転院についての不安や悩み
5. セカンドオピニオンについて
6. がんの治療や療養生活の不安について

※お気軽にご相談ください。
秘密は厳守いたします。



相談支援センター(2F 歯科口腔外科外来となり)

相談時間 9時～17時 TEL884-6229・6283



「皆さんのご意見・ご要望」より

当院をご利用になる皆様の声を一部掲載させていただきます

ケース1：以前に『不用意に患者の名前を呼ばないで欲しい』と要望を出させて頂いたところ、ここ何回かの通院の折は、各種受付で確実に呼び出し受信機で呼び出して頂けるようになり、大変嬉しく思います。ありがとうございました。

毎回、来院の度に何かしらの改善がなされ、着実に問題解決が図られていることは誠に素晴らしく、立派なことだと感心致しております。一言感謝を申し上げたく、投函させて頂きました。（平成24年7月受付分）

回 答：この度は、外来看護師・クラークの対応への評価のお言葉をいただきまして誠にありがとうございました。

以前いただきましたご意見について、担当者間で話し合った結果を、患者さんにご理解いただき、私たちにとっても大変うれしく励みになります。

今後も患者さんが安心して治療が受けられますよう努力してまいります。

ケース1：子供が小さい頃からたびたび入院でお世話になっております。このたびも久しぶりに入院でお世話になっております。今回の入院では、子供が大きくなったため同じベッドで休むことができずに貸布団をお借りしましたが、床の上に薄いマットレスをして寝るようになっていて布団を敷く場所の確保が大変で看護師さんの配慮でどうか布団を敷くことができました。ところが足が通路にはみ出ると、布団の幅があるので、夜中に看護師さんが回ってきてベッド回りに点滴などの確認に行くのにも一苦労のようでした。

また床に直接布団を敷くのも衛生上どうかとも思いますし、床に直接寝るとベッド上の患者の様子もよく見えません。ぜひとも簡易ベッドを取り入れていただけないでしょうか。簡易ベッドだと現在の布団の幅の2/3位になるので看護師さんの邪魔にもならないですし、またベッド上の患者の様子もよく確認できますし衛生上もよいと思います。改築によって病棟内も新しくなったこの機会に検討をよろしく願いいたします。（平成24年8月受付分）

回 答：付き添いをなさるご家族の立場から、ご意見を頂きありがとうございます。

入院中の付き添いについては、患者家族控室で休んでいただくことを前提としておりますが、小児科病棟での入院や精神的な安定が期待される場合などには、病室で休んでいただくこともあります。

以前にも付き添い用簡易ベッドについて検討いたしましたが、長さがベッド脇から通路に出てしまうことがわかりました。緊急時などに障害物となる可能性と、ベッド自体の安定性から付き添いの方の安全面を考慮し、床敷シートを利用することになりました。

床敷については衛生上の問題はありますが、患者さん・ご家族の安全性も考慮の上での対応であることをご理解くださいますようお願いいたします。

また、清掃等についてお気づきのことがありましたら、お知らせください。

